

中竹野地区コミュニティ 地域づくり計画

2023

発行：あゆみ部会



中竹野地区コミュニティ 2017
豊岡市竹野町轟1051 0796-47-0503

キャッチフレーズ 『みんなでアクション中竹野』

人口が減り、高齢の方が増えても、安心して楽しく暮らし続けられる地域を目指す合言葉として、このキャッチフレーズをみんなで考えました。

地域住民の全員が一緒になって、少しでも活動へ参加し一人ひとりのチカラが繋がり、大きな支えとなる人づくりをしていくための拠点が中竹野地区コミュニティです。

この拠点に集まりこれからの地域課題や困りごとについて話し合い、解決方法などのアイデアを出し合い『みんなでアクション』を起こします。

そのためにも地域づくり計画を策定し、具体的な目標や目的をみんなで共有することで、持続可能な地域づくりを目指します。

くらし部会
幸せに、安心して暮らす

あゆみ部会
中竹野の誇り、中竹野らしさを醸し出す

めぐみ部会
中竹野の自然の恵み、営みを活かす

【 中竹野アンケートから運営委員会で抽出した中竹野の主な 魅力・資源、課題 】

地域の魅力、資源

- 【人のつながり】
 - ・事業などに進んで協力する人がいる
 - ・地域内での思いやりが強い
 - ・地区外にも中竹野ファンがいる
 - ・お年寄りが元気で頑張っている
 - ・奉仕作業にみんなが協力的である
- 【自然】
 - ・山あり、川あり、自然に恵まれている
 - ・桜並木が素晴らしい
 - ・地元で朝市が開催できる
- 【旧跡・施設】
 - ・鉱山遺跡がある
 - ・歴史ある神社仏閣がある
 - ・高齢者施設がある
- 【その他】
 - ・コミュニティ活動が盛ん
 - ・伝統的な行事が引き継がれている
 - ・福祉施設がある

地域の課題、困りごと

- 【生活】
 - ・車を持っていないと不便
 - ・日役や行事が多い
 - ・親睦を育む憩いの場が少ない
 - ・活気、賑わいが少ない
- 【福祉】
 - ・各区の高齢者のみまもりのルールや方法など共有の場がない
 - ・買い物や通院に困っている
 - ・年配の方が生き生きしている姿があまりみられない
- 【防災】
 - ・昼間は高齢者ばかり災害時不安
 - ・獣害が大変
- 【自然】
 - ・所有田畑や宅地の維持管理ができず景観が悪くなっている
- 【その他】
 - ・地域とのつながりが薄いと感じている人がいる
 - ・10年後、20年後に地域がどうなっているか心配

地域づくり計画策定経過

第1回から第7回の運営会議において地域づくり計画について協議・検討してきました。

- 第1回（令和4年7月6日）
 - ・地域づくり計画策定について説明
- 第2回（令和4年9月29日）
 - ・魅力や資源・課題の洗い出し（2014年中竹野アンケートより）
- 第3回（令和4年10月20日）
 - ・魅力や資源・課題について協議
- 第4回（令和4年11月24日）
 - ・課題解決へ向けたアイデア出し
- 第5回（令和4年12月14日）
 - ・既存事業の見直し
 - ・新規事業の検討、協議
- 第6回（令和5年1月18日）
 - ・課題解決へ向けた事業内容へ協議
- 第7回（令和5年2月15日）
 - ・各部会で事業の点検結果共有

今後の課題と目標

・高齢化や少子化など地域課題の深刻さが増してきている

京阪神等の都市部や豊岡市内から関係人口として中竹野地区に興味や関心を寄せてもらい、交流から移住へと進められるよう目指します。

・病院や買い物への移動が困難になってきている

移動販売事業者を誘致し、移動販売も兼ねて見守り活動を展開してもらうことで安心して暮らせる地域づくりを目指します。

・親睦を育む憩いの場が欲しい

要介護者を輸送できる車両を用意し、中竹野地区コミュニティの活動へ参加してもらうことにより情報交換やつながりを深める機会づくりを目指します。

・小、中学校との連携

小学校の統廃合により、小学生の参加が難しくなることから、竹野小・中学校と連携し、各事業を通じたふるさと教育の充実を目指します。

中竹野の資源・魅力を活かしながら

地域の課題解決に取り組めます

○魅力、資源 ◆課題	目指す10年後の姿	事業名 目指す姿を実現するための事業
◆活気、賑わいが減ってきている	幅広い住民が交流している	体育大会に代わる 新たなイベント
	多世代で賑わうイベントを開催している	なかコミなつまつり
	子どもたちでにぎわうイベントを開催している	じゃんぼ巻きすし大会
○事業などに進んで協力する人がいる ○地域内での思いやりが強い ◆親睦を育む憩いの場が減ってきている	親睦を育む憩いの場がある	ふれあい喫茶
	幅広い世代の意見を聴ける憩いの場がある	ふれあい居酒屋
◆親睦を育む憩いの場が減ってきている	幅広い住民が交流している	グラウンドゴルフ大会
◆活気、賑わいが減ってきている	子どもたちでにぎわうイベントを進んで協力する人々で開催している	なかコミ花火大会
○事業などに進んで協力する人がいる ○地域内での思いやりが強い ◆年配の方が生き生きしている姿があまりみられない	住民が進んで協力し、地域の高齢者を楽しませようという雰囲気がある	敬老会
◆各区の高齢者のみまもりのルールや方法など共有の場がない	高齢者の見守り意識を高める	福祉学習会
◆年配の方が生き生きしている姿があまりみられない	高齢者も生き生きしている	中竹野学園
	高齢者もコミュニティ活動に参加し、地域での役割をもって生き生きと生活している	出張高齢者学級
○山あり、川あり、自然に恵まれている	中竹野の自然を楽しむイベントが開催され、中竹野ファンが増加している	ふるさとプロジェクト
○鉱山遺跡がある	鉱山跡地にたくさんの人が訪れている	鉱山遺跡の魅力発信
◆昼間は高齢者ばかり災害時不安	災害時の避難方法を理解している	自主防災活動
○地区民による畑づくりが盛ん ◆買い物や通院に困っている	地域の方が生き生きと、自分たちが作ったものを販売する場がある	ふれあいマーケット
◆年配の方が生き生きしている姿があまりみられない	特産物の製造販売を高齢者も楽しんでしている	こんにゃくプロジェクト
◆所有田畑や宅地の維持管理ができず景観が悪くなっている	所有遊休農地が少しずつ活用され始めている	遊休農地対策
○歴史ある神社仏閣がある	住民が地区の寺社・旧跡など大切に思っている	中竹野たんけん
◆親睦を育む憩いの場が減ってきている ◆活気、賑わいが減ってきている	披露の場があり、住民が生き生きと趣味を楽しんでいる	文化祭
○伝統的な行事が引き継がれている	写真を通じた歴史の継承	懐かしの写真展

事業スケジュール

事業名	事業内容
目指す姿を実現するための事業	
体育大会に代わる 新たなイベント	運動会を開催しながら次年度以降の開催へ向けアンケート調査を実施する ※令和5年度の部会で調査内容を検討
なかコミなつまつり	たけのこ村で魚づかみ、流しそうめん、かき氷、ビンゴゲームなどの実施 ※開催場所については検討
じゃんぼ巻きずし大会	中竹野ふるさと館で子供たちを中心に一体感を得ながら長い巻きずしを一斉に巻き、豚汁などと共に食す大会
ふれあい喫茶	第1、第3水曜日にサロンを開きスタッフの手造りお菓子やコーヒーを出し談笑の場の提供 ボランティアスタッフによる送迎を実施
ふれあい居酒屋	年4回ほど開催 ふれあい喫茶の夜のバージョンとし、お酒を提供し差し入れ料理などを提供
グラウンドゴルフ大会	スポーツ21中竹野と連携し、年に2回ほど高齢者から小学生までの参加でグラウンドゴルフ大会
なかコミ花火大会	中竹野ふるさと館前で子供たちを対象に花火やゲームなどを楽しむイベントを開催
敬老会	地域に貢献されてきた高齢者と交流し長寿をお祝いする 中竹野ふるさと館で会食しながら踊り、歌、ピアノ演奏、カラオケなどを楽しむ
福祉学習会	1回/年に学習会を開催し福祉活動への理解を深め高齢者が安心して住むことのできる地域を目指す
中竹野学園	高齢者を対象に年4回ほどフレイル予防体操や詐欺被害防止などの各種講座と研修旅行等を開催
出張高齢者学級	コミュニティの理解を深めて頂くために各地区で開催されている高齢者サロン等に出向き、コミュニティ設立の経緯や活動内容について説明

ふるさとプロジェクトの様子



実施主体 (部会名等)	協力団体 協働団体	年度										
		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	
3部会合同 (くらし部会中心)		アンケート・企画 → イベント実施		→								
3部会合同 (めぐみ部会中心)		年1回7月に開催予定 →										
3部会合同 (めぐみ部会中心)	竹野小学校	年1回1月に開催予定 →										
くらし ボランティアスタッフ	豊岡市社会 福祉協議会	第1、第3水曜日サロンの開催 → ボランティアスタッフへの支給を試行 →										
くらし ボランティアスタッフ		年4回開催予定 →										
くらし		年2回、夏と秋に開催予定 →										
めぐみ		年1回8月に開催予定 →										
3部会合同 (くらし部会中心)		年1回10月に開催予定 →										
くらし 区長 民生委員・福祉委員	豊岡市社会 福祉協議会	情報連絡会検討 → 開催 →										
あゆみ	老人クラブ	仕組みの見直し → 開催 →										
あゆみ	地区サロン	随時開催 →										

中竹野たんけんの様子



防災学習会の様子



事業スケジュール

事業名 (目標を達成するための事業)	事業内容
ふるさとプロジェクト	月に2回ほどの頻度でバードウォッチングやふるさとレシピ教室など中竹野の豊かな自然に触れ合うイベントを開催
鉱山遺跡の魅力発信	東大谷の精錬所跡を整備し中竹野の新たな魅力の掘り起し かつては竹野町の主要産業であった金銀鉱山の遺跡や資料を保存活用し交流人口を増やす
自主防災活動	各区の自主防災組織が情報共有・意見交換
ふれあいマーケット	毎週水曜日にセンターの前に収穫した野菜を持ち寄ってもらい、市を開催 みまもり活動の一環として野菜の移動販売
こんにゃくプロジェクト	地元の農家に栽培をお願いしたこんにゃく芋を使い、中竹野多目的研修施設でさしみこんにゃくを製造し、年間を通して竹野の特産品として販売
遊休農地対策	遊休農地の活用を検討し環境豊かな地域を目指す 今年度からこんにゃく芋の作付けを開始
中竹野たんけん	寺社・旧跡など各地を巡り文化・歴史を学ぶ 各地区に残された貴重な歴史や文化伝統を次世代につなぐため街歩きイベントを開催し地区内外へPR
文化祭	年に1回、区民から書画・手芸など募集した作品をセンターで展示し、これに合わせて喫茶やふれあい音楽会なども開催
懐かしの写真展	提供された中竹野地区の古い写真をふれあい喫茶や文化祭の中で展示

ふれあい喫茶の様子



実施主体 (部会名等)	協力団体 協働団体	年度									
		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
めぐみ ボランティアスタッフ		地域のボランティアスタッフの募集・育成					地元後継者の育成				
あゆみ ボランティアスタッフ		見学ルートの整備		広報戦略検討・実施					中竹野たんけんへ移行		
くらし 区長 自主防災担当者	豊岡市社会 福祉協議会 消防団	各区の調査と 取組内容の検討			活動						
めぐみ ボランティアスタッフ		スタッフ・出店者の拡大		継続実施（週1回）							
めぐみ ボランティアスタッフ		継続実施（週2回）									
めぐみ		休耕田の実態調査			休耕田活用方法の検討						
あゆみ	蓮華寺 円通寺	継続実施（年4回）			ボランティアガイドの育成						
あゆみ		年1回11月に開催予定									
あゆみ		随時展示									

グラウンドゴルフ大会の様子



なかコミなつまつりの様子



仲間を募集しています

中竹野地区コミュニティで実施している事業へ、関わってくれる方を大募集しています！

何か特技や好きなこと、やってみたいことなどがある方を募集中！
他薦・自薦、プロ・アマ、年齢、性別など、一切問いません。

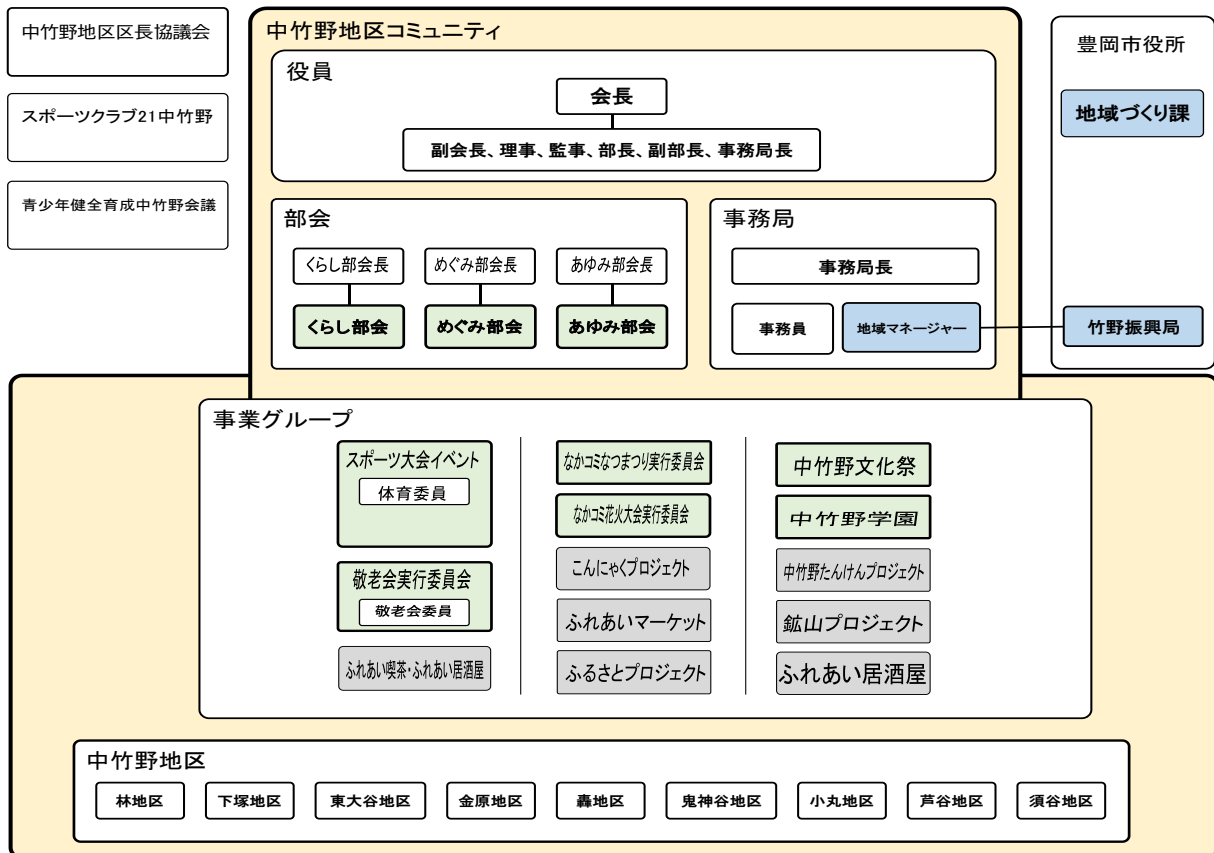
中竹野地区へ熱い思いをお持ちの方、あなたのアイデアや企画を中竹野地区コミュニティで一緒に実現させませんか？

応募方法や募集内容について詳しいことは、
下記の電話番号まで、お問い合わせください。

自分たちの地域は
自分たちでつくる。



中竹野地区コミュニティ組織図



中竹野地区コミュニティ

〒669-6225 豊岡市竹野町轟 1051

電話: 0796-47-0503

メール: nakatakeno-cc@office.eonet.ne.jp



Facebook



公式LINEアカウント



公式ホームページ